

## 第15回柳瀬川・空堀川流域連絡会(第7期)(合同分科会)

日 時 平成26年11月19日(水)14時00分～16時00分

場 所 北多摩北部建設事務所 2階 第1、2会議室

出席者 【河川環境分科会】 都民委員 3名

団体委員 3名

行政委員 3名

【水循環分科会】 都民委員 4名

団体委員 1名

行政委員 3名

事務局等 3名

### 配布資料

- ①(資料1) 次第
- ②(資料2) 座席表
- ③(資料3) 議事録(第13回)
- ④(資料4) 議事録(第14回、ワンドの現場調査・作業)
- ⑤(資料5) 本日の意見交換の進め方
- ⑥(資料6) 水循環マスタープラン(概要版)(本編の一部抜粋も含む)
- ⑦(資料7) 水循環アクションプラン(概要版)
- ⑧(資料8) 柳瀬川流域河川整備計画(東京都管理区間)(一部抜粋)
- ⑨(資料9) 委員から頂いた「空堀川の将来像」についての意見など
- ⑩(資料10) 第13回流連 各分科会での意見交換(議事要旨)
- ⑪(資料11) 「後期の具体的な意見交換の内容」に関する取りまとめ
- ⑫ 第23回空堀川クリーンアップ 写真報告

### 次 第

- ①開会
- ②挨拶
- ③報告事項
  - 前回、前々回の議事について確認
  - 本日の進め方
- ④意見交換(各分科会ごと)
  - 「空堀川の将来像」について
- ⑤その他
  - 市民及び市民団体からの報告について
  - 次回の流域連絡会の日程について
- ⑥閉会

## 【 議事要旨 】

### ● 合同分科会

#### 【開会】

(事務局) 定刻の2時を若干過ぎましたが、皆さん、こんにちは。第7期、第15回の柳瀬川・空堀川流域連絡会を始めさせていただければと思います。前回、13回の時も傍聴の方がいらっしゃいましたが、本日も傍聴の方が一名おります。事務局の方で、要綱、運営要領をご説明させていただきました。発言等はできない旨の注意事項を説明して了解を頂いております。また、以上の事に反した場合は事務局、ないしは座長の方から退場をお願いする場合がありますので、よろしくお願いいたします。

それでは15回の流域連絡会を始めさせていただきます。まず冒頭、座長の〇〇課長の方から一言いただければと思います。よろしくお願いいたします。

#### 【挨拶】

(座長) それでは改めまして、皆さん、こんにちは。座長の〇〇でございます。本日はお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。本日、第15回流域連絡会、今年度に入って5回目という事になります。さらには前回から分科会が始まっておりますけれども、それを数えると、分科会としては2回目の開催になります。

最近、めっきり寒くなってまいりました。この秋一時、台風が続けて来るという状況はありましたけれども、それ以外は今日まで非常に天候に恵まれて、野外活動ですとか行楽には絶好の時期が続いているなど思っておりますが、一方、好天が続くという事は雨が少ないという事で、河川にとっては非常に厳しい状態になってきているという所でございます。

ちょっと降雨量が気になって11月、今月のこの地域の雨の量を気象庁のデータで調べてみました。11月の1日から昨日の18日までの18日間、どれくらい雨が降っているのかと見ましたら、トータルで10mmちょっと、1cmちょっとしか降っていないというカラカラの状況でございます。乾燥注意報が出ております。これがどれくらい少ないかという事で、去年、一昨年あたりと比べてみました。昨年と比べると大体、雨の量は7割くらい。それから一昨年、24年度と比べると、2割くらいしか降っていないという極端に雨が少ない状況でございます。

本日、非常に限られた時間でございますけれども、こういった状況も踏まえて、前回に引き続き活発なご議論をいただきたいと思っております。以上、よろしくお願いいたします。

(事務局) 〇〇座長、ありがとうございました。申し遅れましたが、司会進行をさせていただきます、事務局をやっています〇〇でございます。以降、座って進めさせていただきます。

<出欠状況の確認>

続きましては配布資料の確認です。

<配布資料の確認>

それでは、続きまして資料1をご覧ください。今日、報告事項という事で、冒頭、事務局の方で全体に関わる事と、本日の進め方をご説明しまして、その後、各分科会ごとの意見交換、

空堀川の将来像についてという事で進めさせていただきたいと思っております。で、最後に報告事項をして閉会という事で、概ね2時間、4時までとさせていただきます。ご協力、よろしくお願いたします。それでは、座長の方で進行していただければと思います。

#### 【報告事項】

(座長) それでは次第に基づきまして進めさせていただきます。まずは3とございますけれども、報告事項について事務局の方から、よろしくお願いたします。

(事務局) はい。報告事項でございますが、資料の3と4という事で、お手元に用意していただければと思います。

<【資料3】議事録(第13回)の説明>

<【資料4】議事録(第14回、ワンドの現場調査・作業)の説明>

委員の方のご確認をよろしくお願いたします。

引き続きまして、10回の時に26年度の工事の状況という事で、お話をさせていただきますが、現時点での工事の進捗状況等を含めて、口頭で申し訳ございませんが、簡単にお話させていただきますだけだと思います。お手元に資料が無くて申し訳ございません。もし第10回の資料があれば、資料5として平面図をお配りしてありますので、持っている方はお出しいただければと思います。

<今年度工事の状況についての報告>

工事の方は簡単でございますが、以上でございます。

もう一つ、報告事項で先にお話しさせていただきます。

<工事に関する意見交換についての報告>

これも口頭で申し訳ございませんが、ご報告という事にさせていただきます。以上でございます。

(座長) よろしいですか。ご苦労様でした。報告事項の一つ目、前回、前々回の議事についての確認という事で二つの議事録、今年度の工事の状況、それから10月30日の技術的な工事に関するお話しについて報告がありました。これについて何かご質問等あれば、挙手でお願いたします。それでは、〇〇委員、お願いたします。

(団体委員) すいません。雨水の放流工として柳瀬川で今、工事をしておりますけれども、丁度今のあの位置で放流という事になりますのでしょうか。もしそうであれば清瀬市から何らかのご意見があったんじゃないかと思うんですけども。丁度、すぐ下が子供たちの川まつりの位置でございますので、あそこへ放流するのであれば、果たしてあの位置が的確であったかどうか。

(座長) 事務局、お願いたします。

(事務局) はい。事務局の方からお答えいたします。清瀬市さんの計画で雨水をあそこへ吐くという計画に基づいて今回、そういう工事をしています。確かに〇〇委員のおっしゃるように川まつりの上流の所に工事をやっている箇所がございます。

(団体委員) あれは清瀬市の仕事と今、おっしゃいましたね。失礼しました。

(事務局) 清瀬市さんの雨水整備工事ですね。

(団体委員) 分かりました。

(座長) よろしいですか。それでは他に。〇〇委員、お願いします。

(都民委員) 10月30日の件ですけれども、どのような議題が出て、どのような事が決まったか、変更点だけでもありましたら教えていただけますか。

(座長) 事務局、お願いします。

(事務局) はい。意見の交換という事で、まとめ役さんとも相談して、事務局としてもどうやってやろうかなと色々悩みはしました。で、ああいう形で開催をいたしました。そこは何かを決めるとかという事ではございませんので、色々と不明な点とかご質問とかを受けて、意見のある方は意見を言っていたという事、10月30日は2時間程度お話をさせていただきました。

(都民委員) 今後は、意見だけじゃなくて、色々変更とかという要請に関してはどのような視点で捉えられますか。

(事務局) はい。今後、その辺の意見、我々の工事の中で配慮できる部分については、少し変えるという事はあるかと思いますが、特段、今回の中では、ご要望もありましたけれども、そういう事をやるという事はないのかなと思っています。

(都民委員) という事でお互いに納得されたという事ではないですか。

(事務局) 納得云々と言うか、合意を得ると言うような場ではなく、意見交換。そういう重たい場ではなく、まずは始めてみようという事でやりましたので。私の方から言うのも変ですけども、当然、それでいいよという答えとかそういう物はあたりなかつたり、全て了解ですよという事ではないです。要は意見の交換をした。分からない所を説明させていただいて、お答えをしたようなやり方をして、進めさせていただきました。

(都民委員) 意見を聞き置くという事で、要望に関しては受け入れる事は、現状ではないという事ですか。今までの認識では、意見交換の中に色々と要求がかなりあったようですが、それに関しては全く聞き置くだけというスタンスでおられるという事ですか。今後も含めた考え方として。

(事務局) 今後もそういったご質問とかご不明な点があれば、やっていこうかなと思っていますが、やり方についてもまた、まとめ役さんの方とも今後どうしていくかという事についてはご相談をさせていただければなと思っています。

(座長) よろしいですか。意見交換については、前回の冒頭でもご説明させていただいた所ですけども、この流域連絡会の中で技術的なお話ですとか工事の詳細に関するお話等については本題の方に影響が出るかなという所もあるので別の場というお話がありまして、まずは具体的な所、技術的な所について、ざっくばらんな意見交換の場を持ちましょうという所ですので、そこで何かを決めるとか、そういう場ではないと我々は考えて運営をしておりました。その中で、こういった全体の間ではやりとりできないような詳細なやりとり、疑問点の確認とか、それに対してこういう事なんですよというような、そういうやりとりができたのかなと思っています。これを今後、どういう風に活かしていくかという事については、引き続きやりながら考えていけたらなと思っています。

(都民委員) 分かりました。

(副座長) 今の所で。

(座長) では副座長、〇〇委員、お願いします。

(副座長) 今の件ですけれども、私の方は文書で質問を何項目か提出させていただきました。ただ当日は、時間的に間に合わないという事で回答をいただいてないという状況があります。今、その具体的な報告は細かい内容ですからなかったかと思いますが、私の方はその回答を早くいただきたいと思っていますので、いついただけるのか。その回答が今、いただければありがたいし、今は無理であるとするばいつ頃と、こういう風に言っていただければありがたいなと思います。10月30日、先月の末にやったものですから、もう今月、半ば過ぎになりますので、その辺、もし回答できればお願いしたいと思います。

(座長) では、それは事務局の方で確認をお願いいたします。

(事務局) はい。

(座長) あと、よろしいでしょうか。

(団体委員) 簡単に一言。

(座長) はい。〇〇委員、お願いします。

(団体委員) はい。今、事務局の方からお話のあった工事の件なんですけれども、柳瀬川の部分的に掘れている場所とか、その辺の所を手当てしていくというような工事も予定されているようなご報告があったと思います。それで一つ事例を挙げて、これからのそういった箇所の工事にあたって是非、検討していただきたい要望を一言、お願いしたいと思います。

場所は柳瀬川下流の、清瀬の下宿になるのでしょうか、あの辺で、武蔵野線が陸橋で上を通っているんですね。その下が当然、柳瀬川なんですけれども、私が常日頃から気になっている所なんです。右岸側が東京都で左岸側が埼玉県です。それで、右岸側に矢板を打って、その前面に護床ブロックを根固めとして置いたんだろうけれども、その前段におそらく洗掘されていたんだろうと思います。そこの工事の仕方ですが、今言われたような工事がされています。

その結果として、左岸側、つまり埼玉県側の方に流れが寄り、そのために全幅に対して非常に狭い範囲で、おそらく3分の2ぐらいに川幅が狭められて流れが入るものですから今度は左岸側の洗掘が進みまして、左岸側の護岸が崩落しているという状態になる訳です。現在、そのような状態になっています。上はなんせ鉄道、武蔵野線ですから、武蔵野線が止まってしまうというような危険性も考えられるような場所でもあります。

で、私の言いたいのは、要するに洗掘であるとか、局部的に深掘れが起こった時に、その部分の応急的な手当てというのは当然、やるべき事なんですけれども、やはりそういった兆候ができた場合には、川ですから、前後の長い区間の中でその手当てをしていただきたいと思います。深く掘れたからすぐ埋めるという発想は、どうも川の自然に対してマッチしないので、広い範囲の中で、しかも計画的に、兆候があった段階で手当てをしていくと。そういった計画的と言いますか長期的な、尚且つ、その中で川の自然を活かしていく、そうした対策を講じていていただきたい。

これはやはり、川ですから当然、兆候というものは表れている訳ですので、それを的確に把握して、それに相応しい工法、例えば水制であるとか川幅を拡げるであるとか川の流れを変えていくとか、そういった工法は色々ありますので、そういった方法を是非講じて、事が酷くなって護岸崩落になるから埋めてしまうという短兵急なやり方を極力避けていただきたいというのが私の要望です。以上です。

(座長) はい。ありがとうございました。下流の方の柳瀬川、深掘れはしているけれども、それは前後の長い区間で考えてもらう。決してピンポイント、一箇所を考えずに、全体として計画的に対応してもらいたいというご意見でよろしいでしょうか。では事務局、それは委員の意見という事で。

(事務局) はい。

(座長) よろしいですか。

(団体委員) ちょっとすいません、分科会に分かれる前に。冒頭に座長のおっしゃったこのところ雨の降り方が非常に少ないというお話なんですけれども、川と雨は非常に深い関係で、詳しいデータ、例えば去年の9、10、11月、それから今年の9、10、11月、空堀川の流域に降った雨がどの程度なのかという資料をお持ちだと思うんで、提出をしていただきたいという風に思います。よろしいでしょうか。

(座長) 事務局、降雨のデータですね。9、10、11月の昨年と今年のデータをという事なんですけど、これは用意はできますか。

(事務局) 気象庁の観測所が府中とか練馬とか所沢とかにあるので、柳瀬川流域というピンポイントにあたるデータではないですが、気象庁のホームページからそれを引っ張って来るという形でご提供できるのかなと思いますけれども。

(座長) データは気象庁のデータで、少し分かりやすく加工を出来る限りして、ご提供できるという事でいいですか。

(事務局) はい。今はそういう所であると、気象庁のホームページから各観測所のデータは見れますので、今、座長がおっしゃったように少し見やすいような加工の作業程度はさせていただくかなと思っています。

(団体委員) 正確な数字でなくても結構ですよ。

(座長) 傾向という事ですね。

(団体委員) はい。要するに、この空堀川の流域に降った雨で、去年と今年にどの程度の差があるかという事が分かれば良いと思います。お願いします。

(座長) はい。では事務局、お願いします。

(都民委員) 質問よろしいですか、それに関連して、もう一つだけ。

(座長) はい。では〇〇委員、お願いします。

(都民委員) 北北建さんは自前でそういうのは測られてないのですか。河川にとっては雨量は非常に重要な要素だと思うんですけれども。そういうデータというものは取られてないのでしょうか。今、気象庁とおっしゃったけど。

(事務局) 各市にだいたい1箇所くらいとか、立川だと北北建の上に雨量計とかがございます。あと、空堀川沿いについても何箇所かございます。そのデータを一つ一つ拾うという事も出来ますけれども。

(都民委員) 私が申し上げているのは、私も他が公表されていないので、所沢の気象庁のデータを見ているんです。府中だと明らかに違います。私、東村山で、所沢は比較的近いんですけれども、やはり違うんですね。ですからその辺の、もう少し細かいデータを提供していただけないかという事なんです。場所によって降り方もやはり、最近は局地的な降り方をしているような傾向も見えますので。その辺を提供していただけないかと思います。

(座長) これは出来るか出来ないかも含めて事務局の方で検討をお願いいたします。

(事務局) はい。分かりました。

(座長) では、すいません。色々と議事も詰まっておりますので、進めさせていただきます。報告事項の二つ目ですね、本日の進め方という事について、事務局、お願いいたします。

(事務局) はい。では資料の5をご覧ください。

<【資料5】本日の意見交換の進め方についての説明>

<【資料6】水循環マスタープラン（概要版）（本編の一部抜粋も含む）の説明>

<【資料7】水循環アクションプラン（概要版）の説明>

<【資料8】柳瀬川流域河川整備計画（東京都管理区間）（一部抜粋）の説明>

<【資料9】委員から頂いた「空堀川の将来像」についての意見などの説明>

<【資料10】第13回流連 各分科会での意見交換（議事要旨）の説明>

<【資料11】「後期の具体的な意見交換の内容」に関する取りまとめの説明>

以上でございます。進行については、各分科会の〇〇さんと〇〇さんの方で進めていただければと思いますので、よろしくをお願いいたします。事務局からは以上です。

(座長) はい。ありがとうございました。それではよろしいですか。この後、分科会ごとの意見交換に入らせていただきます。それでは事務局、準備の方、よろしくをお願いいたします。

## ● 各分科会に分かれ「空堀川の将来像」について意見交換会

### ● 合同分科会

#### 【取りまとめ】

(事務局) 予定より時間が少なくて、申し訳ありません。50分程度ですが、各分科会でお話いただきましたんで、また全体の場で報告という事にしたいと思います。それでは座長の方で、司会進行をよろしくをお願いします。

(座長) はい。それでは皆さん、分科会お疲れ様でした。取りまとめに入っていきたいと思います。それではまず、分科会ごとに、どんなお話があったかのご報告をお願いしたいと思います。最初に河川環境分科会の方から、〇〇まとめ役、お願いいたします。

(まとめ役) それでは私の方から簡単に河川環境分科会での議論について、ご報告させていただきます。冒頭に資料9の内容をかいつまんで申し上げました。というのは、特にマスタープランの抜粋の部分ですが、相当時間をかけて揉んだものですから、重なってもしょうがないので、およそこういう事がすでに議論されてきたという事で。それから1、2ページが各委員からの考えを出していただいたもの。それぞれ、それをキーワード的に私の方で、捉えて申し上げました。

で、ポストイットに書いていただくのは、これに重ならない形で、新たな視点で、キーワード的にまとめて出していきたいという事で申し上げましたが、十分意図が伝わってなかった部分もあったかなと反省しております。違う部分でという事が強調されたために、川の将来像とはやや違った形での提出もございました。ただ、それは否定すべき事ではなくて、大事な部分でもある訳ですので、敢えてその事も申し上げておきたいと思います。一つ

は流域連絡会の立ち位置という所もしっかり捉えて、川の将来像を語る必要があるんじゃないかと。それともう一つは将来像を語るにあたって、現状の柳瀬川、空堀川そのものをしっかり捉える必要があるんじゃないか。

特に水量の問題、あるいは川の恵みというような所については、強調が必要だろう。それからもう一つは地域特性の問題ですね。短い川ではあるんですけども源流域、下流域、それぞれ地域特性があるという事。それからまちと川の一体化の問題というような所も議論としては挙げた所であります。

特に最後の方は、2 ページ目の所に挙げている観光資源になり得る川という、観光資源というキーワードをどう捉えるかという事で、一番議論がされました。結果的には観光資源、観光というのは兎角、人によって捉え方が違うという事ですから、ここはむしろ人の賑わい、川の賑わい、要するに賑わいというような表現にした方がいいんじゃないかなというような事で、観光というキーワードは、この際、使わない方がいいんじゃないかという形で、河川環境分科会ではまとまった所でございます。以上です。

(座長) はい。〇〇まとめ役、ありがとうございました。それでは続いて、水循環分科会の方から〇〇まとめ役、お願いいたします。

(まとめ役) はい。こちらの方は特にあまり予断を持たないで議論していただいた方がいいかなという事で、こちらのマスタープランはあまり、私は説明しなかったんですけども、やはり圧倒的なのはまず、常時水が流れる、水量を確保したいというご意見です。これは、具体的にどうするか、例えば下水の処理水を持ってこれないかとか、あるいは水道水、用水をなんとか活用できないかとか、太陽光発電などで地下水をポンプアップしたらどうかかというような話もありました。具体的なやり方についてはこれから考えていきたいと思うんですけども、やはり常時水が流れていてほしいという事がまず、一番ですね。

それから二つ目としては、やはりこの空堀川はこの地域の貴重な財産であるという事ですね。それで今、空堀川は四市を流れているんですけども、あまり有効に活用されていないくて、例えば四市が共同で何かをやるという事もあまりないですね。ですから、その辺を考えて、その中の人の交流、先ほど〇〇さんの方からもありました、観光とは限らないんですけど、その中で人が交流していくというような事も考えたいという事ですね。私が一つ、個人的に思っているのは、空堀川マラソンみたいなものが、ハーフマラソンでも出来たらいいなという事ですけども、そういう人の交流。

それから三つ目としては、こういったものに関して、空堀川として一つのチャレンジをしたい。さきほどの水量確保、これは特に都市部の中小河川というのは、どこの河川でも同じような状況なんですね。やはり水量が足りない、下水道が普及して綺麗にはなったけれども水が流れていないというのは、どこの川でも同じですから、この辺りですと、年間 1500mm くらいの雨が降っていますので、やはりそれを有効に使って、水の確保をしていく。それからもう一つは、先ほどのような人の交流ですね。これについて今後、チャレンジをしていきたいなというようなお話がありました。

あとは、大雨で溢れない川。かなり空堀川の河川改修も進んできて、平成 12 年以降は溢れてはいないと思うんですけども、今後の気象変動も考えて、溢れない川というのも一つの重要な要素じゃないかなと思います。

あと細かい所は、私の方で皆さんのご意見をまとめて、事務局の方へお送りしたいと思えますので、よろしく願いいたします。

(座長) はい。ありがとうございます。河川環境、水循環それぞれご報告いただきました。仕切りを入れて、別々に意見交換をした訳ですけれども、やはり空堀川の将来像という所では、皆さん、認識はかなり近い所をお持ちなのかなと改めて再確認できました。特に、何といつても水量の確保という事に関しては、皆さん、思いは一つなのかなと思います。それから今日、いいお話を聞いたなと思ったのは、私は水循環の方ですけれども、やはり河川環境の方でも、地域の貴重な財産ですと、それは流域四市が人の交流をもっと図るべきですね。それから河川環境の方でもその関連で、空堀川の地域特性について、きちんと認識した上での賑わいというお話ですよね。という事で、水量確保といわゆる財産、賑わい、その辺の所は非常にいいキーワードをいただけたのかなと思います。

これから次回以降、分科会でそれぞれ検討を進めていく訳ですけれども、その時に今日いただきました貴重なキーワードを共通認識として進めていただけたらいいなと思いました。それでは一度、事務局の方にお返しすればいいですかね。よろしく願いいたします。

(事務局) はい。活発なご議論、ありがとうございます。冒頭、事務局の方でお話したように、各分科会の意見交換された内容については、いつも通り要旨等にまとめて見やすいようにしたいと思います。その中で、今日最後、座長の方に少しまとめていただいたように共通のキーワードという形で、まとめ役の方にも相談しながら、将来像という所を一枚、ないしは簡単なペーパーで見やすいようにして、今後の分科会での議論に活かせるような資料にさせていただければなと思っております。色々、ありがとうございます。

#### 【その他】

(座長) 事務局、ありがとうございます。それでは次第の最後になりますけれども、第 5、その他という所ですね、事務局の方、よろしく願いいたします。

(事務局) はい。特に資料の番号を付けてなかったんですけれども、〇〇委員の方からクリーンアップの報告という事で一枚、いただいております。そのご説明をお願いいたします。

#### <【資料 1 2】第 23 回空堀川クリーンアップ 写真報告の説明>

という事で、東京都の北北建の皆さん、それから東大和市は環境課の皆さんにご協力をいただきました。地元企業では森永乳業さんに協賛をいただきました。改めて御礼を申し上げて、ご報告に替えさせていただきます。以上です。

(団体委員) すいません。一言、トピックだけ。同時に開催をした東村山地区なんですが、捨てられた自転車が 13 台ありまして、それについてはカラー写真等、どの場所でどういう風な状況かというのを北北建の〇〇さんの方に送っております。特に盗難届を出しているような関係もありますので、後日チェックしていただくという事になりました。それにしても、過去に 1 台、2 台というのはあったんですが、13 台というのは非常に珍しいので、皆さん是非、どういう原因があるのかなと帰る途中にお考えいただいて。という事でご参考に。お願いいたします。以上です。

(事務局) はい。ありがとうございます。それでは事務局の方から、資料 1 の次第の一番下の所、次の流域連絡会のご案内でございます。今回と次回という事で、ご案内を一緒に送らせていた

できました。次第にも書いてあります通り、次回は12月の10日水曜日、時間は2時から4時という事で、場所は本日のこの会場でございます。前回のご案内の時に今回と次回の出欠を取らせていただいています。ご都合が悪くなった、出られるようになったというような事かございましたら、事務局の方までまた、ご連絡いただければと思っております。

次回につきましては、分科会の方で出た課題も含めていきたいなと思っておりますけれども、詳細については〇〇まとめ役、〇〇まとめ役と事務局の方で相談させていただきたいと思っております。特段、今回はご案内を出しませんので、12月10日という事で次回はよろしく願いいたします。

それと例のごとく、資料を入れる封筒は私の所、この机の所に置いておきますので、必要な方はこちらから取っていただければと思います。事務局の方は以上でございます。

(座長) はい。ありがとうございました。それでは、これをもちまして、本日、第15回の流域連絡会を終わらせていただきたいと思います。皆さん、長時間に亘りましてありがとうございました。